

第 98号

平成29年9月14日 発行

HAKUHOKAI

虹

医療法人 伯鳳会

大阪初の粒子線治療施設 医療法人伯鳳会 大阪陽子線クリニックが開設いたしました

平成29年8月より関西では2施設目、大阪府内では初となる粒子線治療施設、「医療法人伯鳳会 大阪陽子線クリニック」が開設いたしました。

この施設は放射線の一種である「陽子線」を用いてがんの治療を行う最新の設備を備えた施設です。「陽子線」は従来の放射線治療で用いられているX線やガンマ線に比べて、がん病巣に対する線量集中性が高く、周囲の正常組織への被曝を低減することができます。また治療による身体への負担が少なく、通院治療も可能です。

すでに8月から先進医療施設認定取得の為の先行症例に対する治療を開始しており、11月より先進医療として一般の患者様への治療を開始する予定です。

近年多様化するがん治療において、この「陽子線治療」が皆様の治療の選択肢の一つとなり、がん疾患にお悩みの患者様の一助となれるよう努めてまいります。



建物外観



陽子線治療室



エントランスホール

心不全について



循環器科 占部 則生

皆様は心不全という言葉について、しばしばお聞きになっておられると思います。今回はその心不全についてご説明しようと思います。

心臓は血液を全身に送るポンプですが、この機能が障害された状態が心不全です。心臓の筋肉の収縮力の低下・心臓弁の狭窄や逆流による機能不全、不整脈によるポンプ機能低下などが多くの原因ですが、心臓の拡がりが悪くても心不全を来します。全身的な疾患（高血圧症、貧血、感染症等）のため、心臓に負担がかかり、心不全を引き起こす事もあります。症状が急速に出現・悪化した場合は「急性心不全」、慢性的に心不全症状が持続するものは、「慢性心不全」です。

症状としては、心臓から送り出される血液が足りないために起こる、疲れやすさ、動悸、息切れ、低血圧などがあります。血液を送り出すことが出来ず、水分が身体にたまって体重が増えたり、浮腫んだりします。また、肺に水がたまって、夜間に息苦しくなり、眠れなく事が起こります。

心不全症状を悪化させる原因は、心不全治療薬の中断、塩分・水分の摂りすぎ、喫煙、過度の飲酒、全身疾患（血圧上昇、貧血、腎不全など）、感染症（風邪、インフルエンザ、肺炎など）、精神的・肉体的ストレスなどがあります。

循環器科でも、たくさんの患者さんが、慢性心不全のために治療を受けておられます。心不全患者の皆様に症状を悪化させないように塩分・水分制限、禁煙、飲酒の制限、ストレスを避けるなどの生活指導を行っております。運動についても、過度にならない様に、心不全の程度に応じた制限を行っております。時々、薬を飲まなくなると、心不全症状が悪化する患者さんもおられます。必ず、お薬は継続して下さい。

日常生活での具体的な注意点

①入浴について

入浴時は、急激な温度変化は全身の血管の収縮、弛緩を来し、血圧変化、体温上昇で心臓に負担をかけます。風呂に入る前に、脱衣所・浴室を暖めてから入る事が望ましいです。熱いお湯は、心臓に負担をかけるため、40度から41度のぬるめの温度にしましょう。食直後や運動後の入浴は、控えましょう。また、入浴後は安静にしましょう。

②便秘について

排便時のいきみは血圧を上昇させて、心臓への負担となるため、医師に相談のうえ下剤などで便秘を整えましょう。

③飲酒と喫煙

過度の飲酒は心臓の負担になるため、医師の指示の範囲内の飲酒にとどめましょう。

喫煙は、血管を収縮させ、血圧が上昇し、心臓の負担になるため禁止です。

④風邪・インフルエンザ

風邪やインフルエンザは心臓に負担をかけて、心不全の原因になります。冬季は人混みを避け、手洗い・うがいなどを心がけて下さい。インフルエンザの予防接種を受けることもお勧めします。

その他、ご不明な点があれば、循環器科までお問い合わせください。

キッズ感染セミナーを開催しました!

8月5日(土)、赤穂中央病院では市内の小学4年生から6年生を対象とした“キッズ感染セミナー”を開催しました!このセミナーでは、毎年流行するインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症や食中毒に対して、子供の頃から感染予防の重要性と正しい手洗い方法を学び、習慣化する事を目的としています。

セミナーでは、正しいマスクの付け方をはじめ、正しい手洗いの仕方を覚えたり、寄生虫の観察や、顕微鏡で口内の細菌を観察しました。

参加された方からは、「自分の口の中のばいきんと、ちがう人のばいきんが、ぜんぜんちがってびっくりしました」という声や、「手をあらっても、ちゃんとあらえてないところがいっぱいあっておどろいた」という感想をきくことができました。最後は、参加者全員に「手洗い名人」の認定証を授与しました。

来年度も開催する予定ですので、小学4年生から6年生のキッズの皆さん参加を心よりお待ちしております!



顕微鏡で自分の口の中の細菌を観察しました。



蛍光剤を手に塗りブラックライトを当てて、洗い残しがないかを確認しました。

新任医師紹介



耳鼻咽喉科 大河内 喜久 医師

中耳手術全般(鼓室形成術、アブミ骨手術、顔面神経減荷術など)、鼻副鼻腔手術、頭頸部外科など耳鼻科手術を主体に行っております。宜しくお願い致します。



産婦人科 金田 憲熙 医師

9月から産婦人科でお世話になることとなりました。産科では患者様の希望にできるだけ答え、安全な分娩を心がけております。今後ともよろしくお願いいたします。



眼科 神崎 勇希 医師

7月から金曜日の眼科外来を担当しております神崎と申します。岡山大学病院に所属しております。眼のことでお困りの事がございましたら、お気軽にお越しください。

我が家自慢のペット紹介コーナー

第88回目は、Aさん宅のランちゃん

名前：ラン 性別：メス 年齢：14歳



おばあちゃんネコ
ですが、若い子に
負けてません。まだ
まだ元気です!

悲しい事があつた
り落ち込んだ時は
必ず側に居てくれ
る優しい子です。

このコーナーでは皆様からの「自慢のペット」投稿をお待ちしています。どしどしご応募ください。

赤穂中央病院 (基幹型卒後臨床研修病院)

所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6
電話 0791 (45) 1111 (代表)

赤穂はくほう会病院

所在地 〒678-0239 赤穂市加里屋字新町99
電話 0791 (45) 1111 (代表)

診療案内

平日 午前9:00~午後12:30
午後3:00~午後6:00
土曜日 午前9:00~午後1:00

診療予約受付フリーダイヤル

0120-891-700

平日 午前8:00~午後7:00
土曜日 午前8:00~午後2:00
日・祝日 午前9:00~午後1:00

午後の診療時間は各科により異なります。
ご注意ください。

診療時間・曜日は変更となる場合があります。
詳しくは待合室に掲示いたしますので
ご覧ください。

不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。

♪ ホスピタルコンサートを開催しました♪

7月15日(土) 赤穂中央病院 本館1階 パイプオルガンホールにて、姫路市を拠点に活動されておりますセレスチナ合唱団による混声合唱のコンサートを開催いたしました。

第1部は、パイプオルガンを伴奏にラテン語の教会音楽を披露して頂き、ホール内が穏やかな空気に包まれました。第2部では、ふるさとの四季というタイトルで、春・夏・秋・冬それぞれの季節の歌をメドレーで合唱され、会場に来られた患者様や観客の方が一緒に歌って楽しむことができました。



コンサート委員一同、今後も様々なコンサートを企画して、皆さまに楽しんでいただけるように取り組んで参ります。

暦上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。近年では春と秋が短くなっており、過ごしやすい季節が少なくなっています。秋といえば、スポーツ、芸術、食欲など、心身共に楽しめるイベントが盛りだくさんです。一歩外に踏み出して、リフレッシュしてみるのも良いかも知れませんね。

